

「災害に備えた在宅人工呼吸器使用患者実態調査」御協力をお願い
～在宅人工呼吸器使用患者の皆様、御家族の方へ～

近年、豪雨や地震等の災害が多発していることから、在宅で人工呼吸器を使用している方については、平常時から停電時の電源確保や機器の作動停止時の対応など、災害時の備えがますます重要となっています。

そこで、県では、災害に備えた行政からの支援や対策につなげるため、在宅で人工呼吸器を使用している方へ、災害に備えた取組の現状や、行政への御要望をお伺いすることを目的に本調査を実施することとしました。

なお、同意いただけた方については、個別避難計画の策定等に資するため、御回答いただいた内容をお住まいの地域を管轄する「市町村」、「保健所」及び「県（災害医療対策部局）」に情報提供させていただきます。

つきましては、御多忙中、お手数をおかけしますが、調査に御協力をお願い申し上げます。

調査の対象

福岡県内にお住まいで、かつ、在宅で人工呼吸器（気管切開による人工呼吸器または 24 時間継続して鼻マスクによる人工呼吸器）を使用中の方を対象とします。

調査内容

別添「調査票2（参考）」を参照

回答方法

訪問看護ステーションの職員が、ご自宅に訪問した際に、調査の御協力をお願いします。

なお、回答については、調査票の上段（または、本紙右記）に掲載の二次元バーコードを読み取り、オンライン上で、7月12日（金）までに御回答をお願いします。



補足事項

- ・ 調査結果を集計する際には、御回答いただいた個人が特定されない表現とします。
- ・ 災害発生前の行政機関への情報提供の同意の有無について（調査項目の最後でお聞きます。）
防災対策の支援につなげることを目的に、個人が特定可能な形で回答内容を情報提供することを、希望される方に限り、本調査実施後に下記「情報提供先」へ個別の回答内容を情報提供します。

（情報提供先）

- ・ 居住地の市町村
- ・ 居住地の保健所
- ・ 県の災害医療コーディネーター（災害時小児周産期リエゾン）、DMAT（災害派遣医療チーム）

（裏面あります）

(3) 調査の用語集・留意点

避難行動要支援者名簿	避難支援や安否確認等を行うための基礎となる名簿を指し、災害対策基本法の規定によって市町村で作成することとなっています。災害発生時には、本人の同意の有無にかかわらず、名簿情報を基に避難支援等関係者が避難支援や安否確認に使用します。
個別避難計画	災害時に自力での移動が困難な避難行動要支援者への避難支援のための計画です。避難行動要支援者名簿に計画について同意された方に対し、作成することとなっています。
人工呼吸器 内部バッテリー	- 作動時間も機種により違いがありますので、確認をお願いします。 - 内部バッテリーは人工呼吸器使用中に充電されます。 - 人工呼吸器の機種により、内蔵されていない場合があります。
人工呼吸器 外部バッテリー	- 停電時の電源です。必需品ですが、人工呼吸器によって使用できる外部バッテリーが異なります。 - 外部バッテリーを新規に準備する場合は、在宅人工呼吸管理医療機関の担当医に相談し、人工呼吸器販売会社等から外部バッテリーを確保してください。 - バッテリー容量や充電方法も違いがあります（人工呼吸器に外部バッテリーをつないだまま自動充電できる、単独で充電する等）。 - 接続方法も確認・練習し、作動時間や充電に要する時間を御確認ください。
蓄電池	- 貯めておいた電気を使用できる機械です。 - 騒音や排気ガスは発生せず、使用環境による制限がありません。 - 電池には容量があり、貯めた電気を使い切ると電気を送ることができません。
自家発電装置	- 燃料を使用し電気を作り出す機械です。 - 燃料が続く限り長時間の運転が可能です。 - 使いやすいですが、使用環境によっては、騒音や排気ガス等の問題点があります。
外部電源の確保	- 発電機や非常時には自動車のシガーソケットから供給する方法があります。住居の状況などにより、必ずしも準備できるものではありませんが、停電が長期化した場合などに必要となる場合があります。 <u>発電機は基本的には外部バッテリーの充電に使います。（注：発電機での作動は、人工呼吸器の不具合を起こす可能性があります。必ず人工呼吸器販売会社等に御確認ください。）</u>
蘇生バッグ	- 停電による呼吸停止時に、手で呼吸を確保する道具です。 - 人工呼吸器を使用している場合は必需品です。人工呼吸器に近い特定の場所に置き、使用方法を普段から練習し、介護者も患者も慣れておくことが大切です。
在宅酸素療法	- 酸素ボンベを準備してください。 - 酸素ボンベに接続できるか、ご確認願います。
吸引器	- 停電時に使える吸引器（充電式、足踏み式、手動式等）を必ずご用意ください。 - 充電式吸引器はコンセントに差し込み、常に充電しておく必要があります。 - バッテリーには寿命があり、定期的に交換が必要です（2年交換を推奨）。 - 普段使用していない吸引器は実際に使用し、確認することが必要です。 - 口腔内などを持続吸引する場合、電池使用タイプがありますので必要に応じて準備してください。
輸液ポンプ	- バッテリー稼働時間（在宅では24時間作動タイプが主流）をご確認ください。 - バッテリーが使えない場合の手動滴下方法を確認しておくことで安心です。
パルスオキシメーター	バッテリーの付いていないタイプもありますのでご確認ください。停電中もモニターが必要な場合は、電池式を確保してください。

（参考：東京都医学総合研究所 難病ケア看護研究室「計画停電対策確認表」

ゆたかな株式会社リハビリ訪問看護まえあし 輪ノ内新 「災害対策のススメ～非常電源について」

参 考 (県ホームページ)	「在宅で人工呼吸器等を御使用の方及びその御家族等の方へ（停電への備え）」 https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/zaitaku-teiden-sonae.html ※「回答用の URL」や「災害時の手引き」が掲載されています。	
------------------	---	---

【お問合せ先】

福岡県保健医療介護部高齢者地域包括ケア推進課
 在宅医療係（松尾、松石）
 〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7
 電話:092-643-3275(直通) FAX:092-643-3253

